

令和元年度 兵庫県立松陽高等学校(定時制課程) 学校自己評価結果及び学校関係者評価

		学校自己評価の結果										令和元年度の活動評価と令和2年度の改善方策	
重点事項	努力事項(評価項目)	A…できた B…まあできた C…あまりできなかった D…できなかった				A…4点 B…3点 C…2点 D…1点							
		実践目標		評価内容		A	B	C	D	平均点満点4	平均点(H30)		
基本的な生活習慣の確立と基礎・基本の定着を図り、安全で楽しい学校づくりを目指す。	基本的な生活習慣の慣工を確立改善させるため、	定時制高校生としての自覚を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。	1	あいさつや敬語など基本的なマナーを定着させる指導をする。	生徒指導部	38.5%	23.1%	38.5%	0.0%	3.0	3.1	以前に比べ、生徒のマナー等は向上しているが、さらなる向上を目指し、①生徒から挨拶をする②遅刻・中抜け・欠席を減らす③授業態度の改善④交通マナー向上の4項目を重点項目として指導していきたい。また登下校中、通学路での喫煙の形跡があり、巡回指導を強化すると共に、全校集会や授業等で喫煙の体に及ぼす悪影響についても根気よく指導していきたい。	
			2	時間を守る(登下校、授業の開始など)指導をする。		53.8%	30.8%	7.7%	7.7%	3.3	3.3		
		教職員の共通理解のもとに、生徒の特性や能力など個に応じた生活指導をする。	3	教職員を対象とした生徒指導研修会を計画的に実施し、指導に生かす。		7.7%	53.8%	38.5%	0.0%	2.7	-		いじめ・暴力事件撲滅のため、1年生を対象にアンガーマネージメントやコーピング・リレーションタイムを授業に取り入れ、ストレスの対処法や感情のセルフコントロール法を学習し、学校生活を送る上で、必要な人間関係をうまく構築する方法を学んだ。これらを、いじめ・暴力事件をなくす取り組みの中心とした。
			4	生徒理解を深めるために、個別面談等を実施し、有効に活用する。		38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	3.3	-		
		関係機関や家庭・地域の連携のもとに、交通安全指導を実施する。	5	警察など関係機関と連携し、生徒の交通安全に対する意識高揚に努める。		15.4%	46.2%	30.8%	7.7%	2.7	-		登下校のマナーについては、1学期当初から厳しく指導してきたのでかなり改善が見られる。大きな交通事故に遭う生徒もおらず、地域の方々から温かく見守ってもらえているように思う。来年度も実技指導に力を注ぎ、警察のマナー教室や自動車教習所に指導をお願いし、徒歩・自転車・バイク・自動車の安全教室を実施したい。
			6	通学マナーの向上のため、立ち番や巡回などによる指導を徹底する。		53.8%	7.7%	30.8%	7.7%	3.1	3.3		
		学校と家庭や地域社会との連携を密にし、「共に生きる社会づくり」に参画できる精神を培う。	7	ホームページや学校通信などを活用し、学校の教育活動や方針、各種連絡事項についての情報を発信し、家庭との連携に努める。		7.7%	61.5%	30.8%	0.0%	2.8	3.1		学校通信「満天星」を毎月発行し、ホームページにも掲載している。今後さらに、ホームページの充実を図る。家庭との連携のため三者懇談・郵便連絡・電話連絡等を行っている。高校生ふるさと貢献活動事業は自治会・老人会・PTAと連携し、校外清掃活動やグランドゴルフなどを実施している。生徒を通して保護者に配布する文書の一部を保護者宛郵送時に同封するなど、保護者向け文書が届きやすい様に工夫を行った。
			8	地域貢献事業など、学校と家庭、地域社会と協働した教育活動や行事を計画的に実施する。		23.1%	53.8%	15.4%	7.7%	2.9	3.2		
	分かる授業を展開し、基礎的な学力の定着と向上を図る。	生徒の進路希望を実現するため、就業体験事業やHRを計画的に実施するとともに情報提供、個別面談を実施し、未就職者の減少に努める。	9	進路だよりの発行や進路HRの計画的な実施によって、生徒の職業感や進路意識の高揚に努める。	進路指導部	0.0%	61.5%	38.5%	0.0%	2.6	-	就職面では、希望者数を上回る、20社以上の指定校求人をお願いしたが、製造・技能職が多く、生徒のニーズとマッチしなかったため、公開求人での受験が多かった。今年度は、流通・販売業の求人を獲得するため企業訪問を行ったが不調に終わった。今後、安定した求人数を確保するためにも、指定校求人増加を目指し、その対策に努めなければならない。また、就職希望者の職業観を育成するために、総合的な探究の時間を使い、履歴書の書き方や面接の仕方などから生徒の意識の向上を目指し、社会人としての基礎基本を身につけさせ、就業体験に積極的に取り組ませたい。また進学面では、大学2名、専門学校3名と、生徒ひとりひとりがAO入試からきちんと取り組み、成果を上げた。	
			10	地元企業などへの会社訪問を計画的に実施し、求人の開拓や情報収集を図る。		7.7%	69.2%	23.1%	0.0%	2.8	3.2		
			11	地域の人材や外部講師を活用するなどした、HRや進路説明会などを実施する。		15.4%	53.8%	15.4%	15.4%	2.7	-		
			12	生徒の進路実現に向けて、就業体験事業(年間最低1回)を実施する。		7.7%	46.2%	23.1%	23.1%	2.4	-		
		理解しやすく楽しい授業を展開し、生徒が主体的に学ぶ力を育み、学習意欲を高めさせる。	13	成績処理システムの整備等により生徒の学習状況を把握・分析し、授業に集中できる環境づくりに努める。	教務部	30.8%	46.2%	23.1%	0.0%	3.1	3.1	1学年において少人数制授業で3クラス展開を実施し、軌道に乗ってきている。担任も教科担当者もきめ細かな指導ができるようになり、落ち着いた雰囲気での授業が出来てきている。授業はプリント学習を中心に生徒の学力に合わせた形式が浸透しており、生徒も熱心に取り組んでいる。校内研修や公開授業を行い、全・定交流しながら、さらなる授業・指導法の研究に努めていきたい。また、今年度は校務支援システムの使い方について、研修により周知徹底を図った。新学習指導要領に則した教育課程の編成についても取り組んでいる。	
			14	校内研修や公開授業などにより、授業・指導法の研究に努める。		7.7%	69.2%	23.1%	0.0%	2.8	3.0		
			15	理解しやすく楽しい授業を目指し、研究会・研修会への参加など教科指導や学習方法の工夫・改善に取り組む。		7.7%	61.5%	30.8%	0.0%	2.8	3.1		
		生徒一人一人の個性や能力に応じた指導をおこない、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。	16	確かな学力の定着を目指して、T.T.(チーム・ティーチング)等を活用し、個に応じた適切な学習指導を行う。	教務部	38.5%	38.5%	7.7%	15.4%	3.0	-	「総合的な探究の時間」では「コーピング」に取り組み、学習スキルや人間関係スキルを学んだ。また、「先生は赤ちゃん」ではキャリア形成に必要な知識等を身につけた。今後、どの内容も継続的に改良を重ね、よりよいものを生徒にフィードバックできるようにする必要がある。また、被服実習や理科実験などを積極的に授業に取り入れ、より興味・関心を高める工夫がなされている。また、3修制関連科目において、来年度「学び直し」を目標とした大幅な見直しを行い、基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。	
			17	生徒の興味・関心や進路希望に応じた学習活動を実施する。		15.4%	46.2%	38.5%	0.0%	2.8	3.1		
			18	3修制の整備を図り、各教科間の連携を深めるとともに、総合的な学習の時間やLHRを利用して、基礎的な学力の向上を図る。		23.1%	69.2%	7.7%	0.0%	3.2	3.3		
	生徒の生命別と財産が守られ、安全な教育環境を構築する。	阪神・淡路大震災の教訓を生かし、防災教育を計画的におこなうとともに、生徒の防災・安全意識の高揚を図る。	19	生徒の教育活動が安全かつ円滑に実施できるよう、学校設備の点検や整備などを定期的実施する。	総務部	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%	3.0	-	学校設備の点検・整備は日々実行している。防災避難訓練については、消防署と連携して年1回実施している。訓練は組織のメンバーが入れ替わった年度当初の4月に行った。また、学校安全対策合同会議に参加した際、防犯教室の有意性を知り、まずは教員対象の防犯教室を行い、その後、生徒を対象とした教室を開催する予定である。1月には震災行事として、全校集会で震災と防災について触れ、黙祷を行った。全日制とも情報を交換し、学校行事やHR活動を通して、より一層防災教育に力を入れる。また、1月には長野県でのボランティア活動に参加した。	
			20	消防署など関係機関との連携を密にし、避難訓練などの参加型・体験的な教育活動を効果的に実施する。		15.4%	53.8%	30.8%	0.0%	2.8	3.1		
			21	学年行事やHR活動など特別活動を活用して、防災意識や安全意識の高揚に努める。		8.3%	58.3%	25.0%	8.3%	2.7	-		
		保健衛生や健康に関する基本的な知識を深めさせ、自己の健康管理への意識を高める。	22	定期健康診断を計画的に実施し、受検率を向上させ、生徒・教職員の「健康管理」に対する意識向上を図る。	保健部	46.2%	46.2%	0.0%	7.7%	3.3	3.4	生徒の定期健康診断の受診率の更なるアップを目指して、保健部と各学年団でこれまで以上に連携しながら、引き続き教職員全員で事に当たっていく。保健講話に関しては、例年以上の内容となるように、そのテーマと講師の選定に努める。また、パン(おにぎり)の補食については、常にメニューに気を配り、予想されるごく一部のゴミの投げ捨てなどには粘り強く対処していく。	
			23	生徒・教職員の保健・衛生に関する意識を高めるため、保健講話の実施や配布物・掲示物を作成する。		30.8%	61.5%	7.7%	0.0%	3.2	3.3		
			24	補食(パン給食)を食育やマナー指導の機会と捉え、衛生意識および食のマナーの向上に努める。		7.7%	76.9%	15.4%	0.0%	2.9	3.1		
		生徒一人一人の悩みを早期に把握し、楽しく充実した学校生活がおくれるように、「心の健康教育」を充実させる。	25	生徒や保護者・教職員の「心の健康教育」の充実に役立つよう、制度の周知に努め、教育相談を実施する。	人権教育推進部	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	3.4	3.2	あいさつ運動として、「オアシス運動」を実施し、生徒からの挨拶を促す。また、教職員の人権感覚を研ぎ澄ますため、校内における研修会を充実させる。具体的には、専門家を招いての講演会の実施や、人権に関するビデオ鑑賞などを取り入れていく。また、校外における各種人権研修会に代表が参加した時には、帰校後の報告会を実施し、教職員全体にその内容を還元していく。そして、生徒対象には、HRや総学の時間を利用しての人権学習を計画的に実施できるように努力していく。また、「他者を思いやる心」を育てるため、生徒対象の人権に関する講演会を実施し、人権意識の啓発に役立った。生徒対象の教育相談も充実しており、一定の成果を挙げた。	
			26	「心の健康教育」推進のために、教育相談に関する研修を計画的に行い、カウンセリング・マインドの涵養に努める。		30.8%	61.5%	7.7%	0.0%	3.2	3.2		
			27	教職員の人権意識を高めるため、研修会などを計画的に実施する。		23.1%	46.2%	23.1%	7.7%	2.8	3.1		
			28	国際理解教育の推進や人権意識の高揚のため、HRや学校行事などを活用し、「人権教育」を計画的に実施する。		7.7%	46.2%	38.5%	7.7%	2.5	-		
	いじめの予防、早期発見・早期対応に努め、いじめのない安心安全な学校づくりに努める。	29	いじめ防止基本方針についての研修を通して、いじめに対して毅然とした態度で臨む指導を徹底する。	生徒指導部	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	3.5	3.1	年度当初に「安心・安全な学校づくり」を呼びかけ、生徒たちも、自分たちの学校を良い学校にしようという気持ちが浸透してきているように感じる。いじめについてもアンケートを実施し、いじめ対応チームの迅速な対応により、未然防止、早期発見等の対応が円滑に行われている状況である。今年度は、SNSを使ったなりすまし等でのいじめがなかったが、本校の「いじめ根絶」という目標のもと、実効的な校内組織をより充実させるとともに、家庭や地域、関係諸機関との連携を密にしながら、学校が一丸となって立ち向かう姿勢を貫いていくことで対応していきたい。		
		30	未然防止及び早期発見のために、いじめに対する教職員の資質能力の向上を図る校内研修など、年間の指導計画を策定する。		15.4%	76.9%	7.7%	0.0%	3.1	-			
		31	いじめの疑いがある事実を把握した場合やいじめを察知した場合は情報の収集、記録情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を構築する。		61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	3.5	3.3			